

# 第9回CN専門委員会 次第

1. 進捗確認【資料配布】
2. LCAに関する自工会との連携【報告】
3. ※CJPTとの連携【報告】
4. 日野自動車(株) 小木曾社長様からのお話、意見交換

※CJPT : Commercial Japan Partnership Technologies

2022.4.7  
車工会 事務局

## カーボンニュートラル専門委員会 出欠一覧：第9回 2022年4月7日(木)16：30～18：00

	委員会役職	氏名	所属部会・役職	会社名	役職	出欠
1	委員長	宮内 一公	(会長)	トヨタ自動車東日本(株)	取締役社長	WEB
2	副委員長	高橋 和也	(副会長)	極東開発工業(株)	取締役会長	WEB
3		矢野 彰一	(副会長、バン、九州支部長)	(株)矢野特殊自動車	取締役社長	WEB
4		吉村 東彦	小型部会長	日産車体(株)	取締役社長	WEB
5	委員	増井 敬二	(副会長)	トヨタ車体(株)	取締役社長	WEB
		鈴木 真也	—	トヨタ車体(株)	経営企画部 主担当員	WEB
6		田沼 勝之	特装部会長	新明和工業(株)	取締役 専務執行役員	WEB
7		青地 潔	特種部会長	(株)オートワークス京都	取締役社長	WEB
8		山田 和典	トラック部会長	山田車体工業(株)	取締役社長	WEB
9		昼間 弘康	バン部会長	日本フルハーフ(株)	取締役会長	WEB
10		辻 和弘	トレーラ部会長	東邦車輛(株)	取締役社長	WEB
11		石川 哲朗	バス部会長	ジェイ・バス(株)	取締役副社長	WEB
12		小澤 賢記	資材部会長	ゴールドキング(株)	取締役社長	WEB
13	アドバイザー	木村 昌平	(相談役)	車体工業会	相談役	WEB
14	事務局	岡本 哲		トヨタ自動車東日本(株)	総務部 総合企画G GM	WEB
15		松井 賢一		トヨタ自動車東日本(株)	PE・環境部 部長	WEB
16		鈴木 良規		トヨタ自動車東日本(株)	第1開発領域長	WEB
17		吉田 量年		車体工業会	専務理事	WEB
18		小森 啓行		車体工業会	業務部長	WEB
19		森田 敦次		車体工業会	業務部 次長	WEB

# カーボンニュートラル取組み(2022年3月~2022年12月)

		2022年3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月			
5団体活動		●3/24(休) 5団体トップ協議会																					
会議体 (CN:カーボンニュートラル専門委員会)		3/7 #8 CN 2022年度事業 計画案確定	3/17 理事会 2022年度 事業計画案 (項目) 理事会承認	4/7 #9 CN	4/14 理事会 2022年度事業計画案 理事会承認					5/27総会 2022年度事業計画案 理事会承認							10/20 理事会						
		本部委員会報告：環境委員会(3/3)、中央事務委員会(3/4) 中央技術委員会(3/8) 支部連絡会(3/11)、資材部会役委員会(3/25)																					
ロードマップ に基づく事業 推進	①自動車5団体との連携 ②部会特有の課題抽出と 対応 ③各種情報収集と展開	技術課題への取組み【中央技術委員会と連携】 <CJPTとの打ち合わせ> ●3/16 ●3/29		個別取組み状況とロードマップの関連確認と対応																			
Step0 現状調査	①会員の実態把握と対策 検討 ②ステップ毎に生じる取組みでの 会員様の業務軸・技術軸の 課題、困り事把握と対応	新入会員展開、フォロー 1月以降の新入会6社フォロー		報告						報告						報告							
Step1 理解活動	①CN取組み事例展開 ・環境変化、会員の現状調査を 踏まえたパンフレット発行、車体 NEWS掲載 ・CN専用HP開設 【環境委員会、 広報委員会と共同】	●3/15 ・#4パンフレット発信	検討、準備		○6/15 ・#5パンフレット発信		検討、準備				○9/15 ・#6パンフレット発信		検討、準備		○12/15 ・#7パンフレット発信						完成		
情報収集・展開 (好事例・QA 集)、勉強会、 自動車5団体 CN活動等の推 進	②双方向勉強会の継続 【環境委員会と共同】 【実行編】	3/28 #5開催展開 コンテンツについて検討	#5◇ 4/21	フォロー	(適宜新入会員への対応及び会員要望を踏まえ対応)		仮) #1◇	フォロー、改善	準備、展開	仮) #2◇	フォロー、改善	準備、展開	仮) #3◇	フォロー、改善	準備、展開	仮) #4◇	フォロー、改善	準備、展開	仮) #5◇				
③自動車5団体CN活動展開	定期会議での情報共有	情報収集、展開																					
Step2 理解 把握	①会員のエネルギー使用量 調査に基づくCO2排出量 把握、フィードバック(1回/年) 【環境委員会主導】 ②LCA評価ツール展開	会員のエネルギー使用量調査	会員データ収集方法のルール化検討		評価車種に関する所定データ調査、まとめ		評価ルール案作成		評価ルール案会員説明、周知		会員フォロー												
①車工会の目標設定に ついて協議、設定、展開	②関連委員会と連携した 取組み支援	●3/10 #1自工会LCA分科会と 評価手法について打合せ	○4/11 #2打合せ																				
Step3 以降 目標設定と 対応策検討	目標設定(車工 会・僱社)及び 会員様への取 組み支援	目標値については5団体連携活動での情報収集、検討		会員支援策検討																			
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>環境委員会主導</p> <p>分析・検討(環境委員会主導) → 案作成 → 提示</p> <p>▼提示</p> <p>【車工会単独】 → 2023年会員支援反映</p> <p>【自工会合併】 → 自工会状況フォロー</p> </div>																					

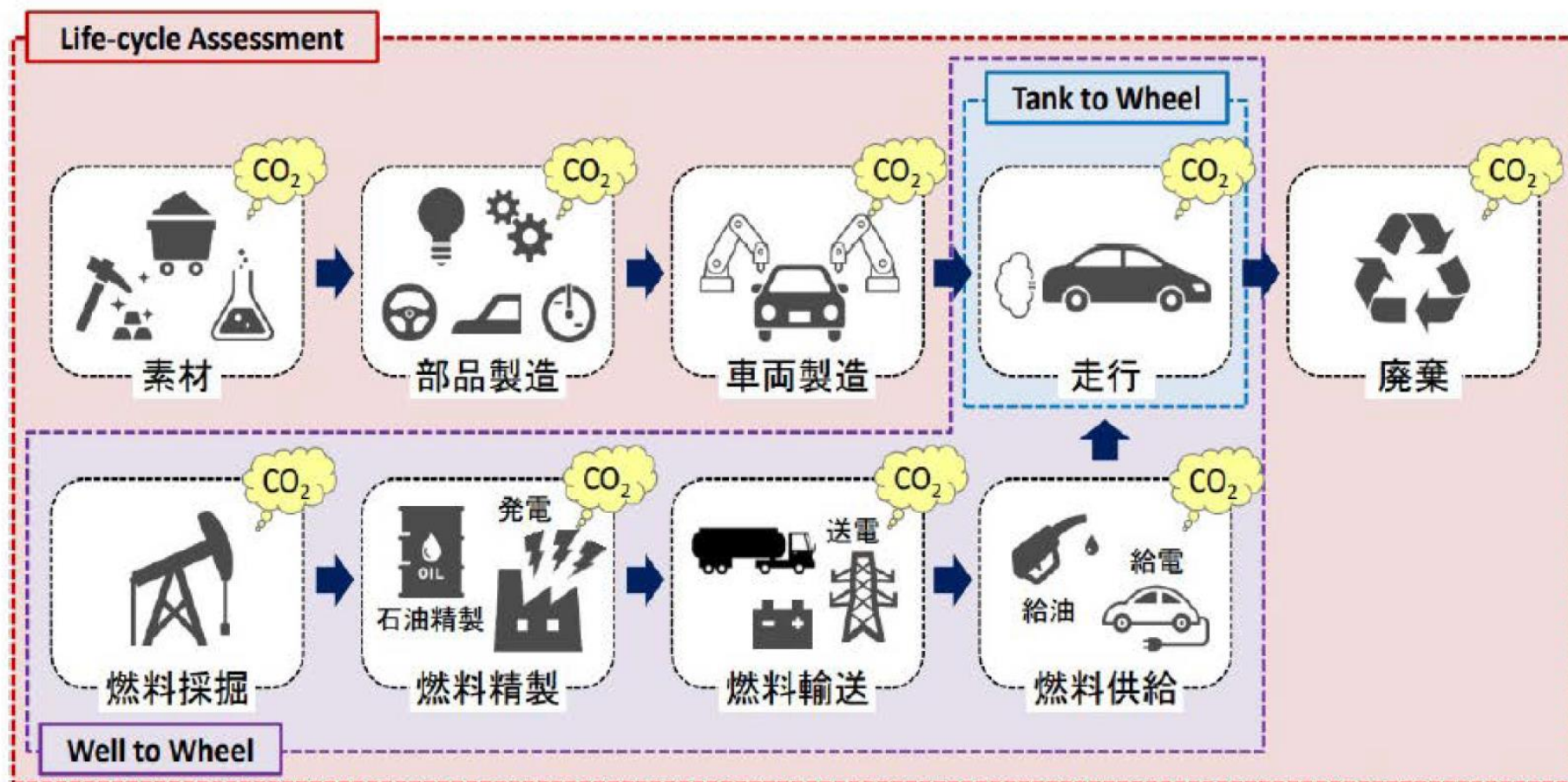
# LCAに関する自工会との連携

2022年4月7日（木）  
CN専門委員会 事務局

# 1. LCA (ライフサイクルアセスメント)

「つくる」「運ぶ」「使う」「廃棄する」それぞれの工程でエネルギーを消費し、CO<sub>2</sub>が発生  
ライフサイクルアセスメント(LCA)の考え方で、それぞれの工程の**CO<sub>2</sub>排出量を評価**し、削減をしていく事が必要

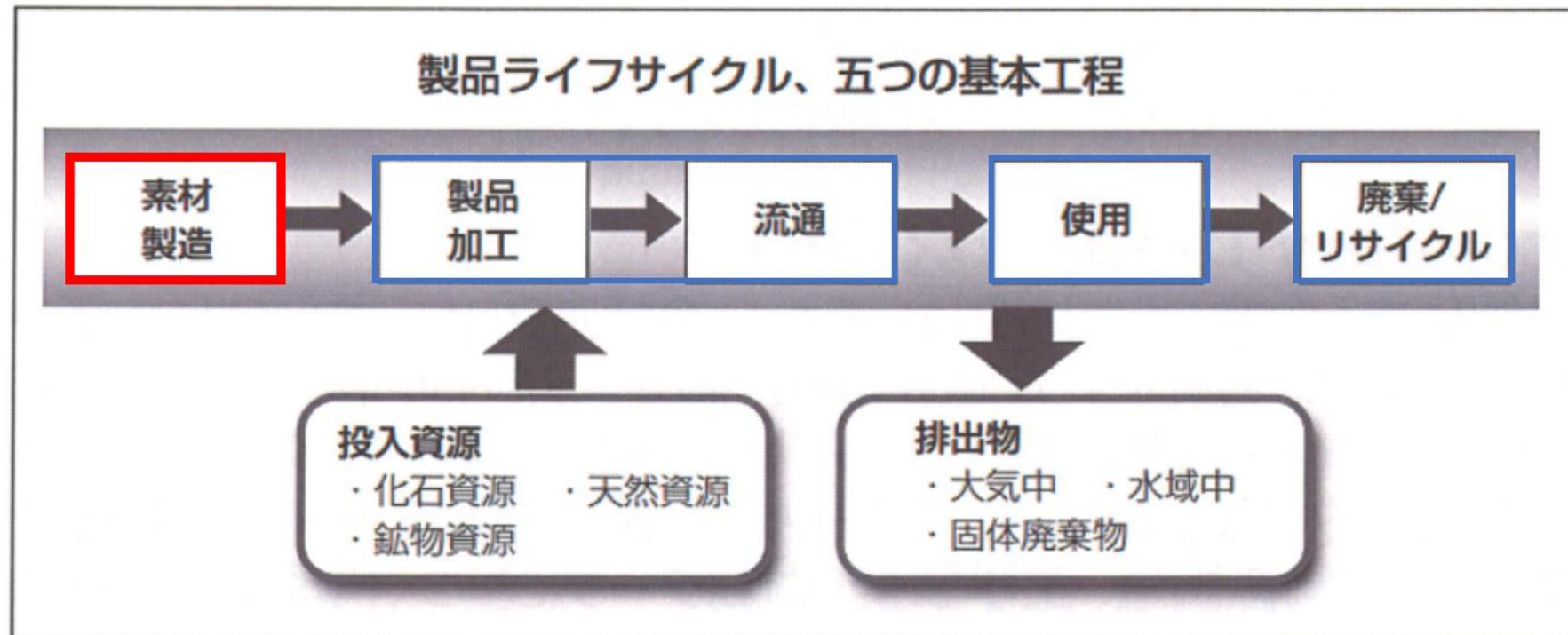
## 自工会と架装物の評価方法を検討



## 2. 自工会からの依頼内容

### ■ 背景・目的

- ・CN取組みが公正に評価できる**自動車用LCA手法の構築及び国際標準化に取り組み中**
- ・LCAは、製品・サービスの**環境負荷を定量的に評価する手法**で、ISO14040に規定あり
- ・LCA分科会の中で以下の工程に分け、チームで検討中
- ・**商用車の架装部分、素材部分**について情報提供を依頼したい（シャシは自工会）



### 3. 第1回打合せ

- 2022年3月10日（木） 10：00 ～ 11：10
- Web会議（Teams）
- 出席者

自工会 LCA分科会

田伏 分科会長（本田技研）

深井 委員（いすゞ）

玉井 オブザーバー（いすゞ）

川口 主任（自工会）※開催者

車工会 トラック部会

山田車体工業(株) 山田社長、酒井部長、山田課長

バン部会

日本フルハーフ(株) 佐々木取締役

バス部会

ジェイ・バス(株) 赤松グループリーダー

事務局

吉田専務理事、小森部長、森田

計10名

## ① 依頼内容

- ・自工会の既存LCA【**2011年 JAMA法**】をCN取組みの評価が出来るように**見直す**
- ・【**2011年 JAMA法**】は、自家用国産乗用車のみ対応  
⇒ **商用車も入れる（シャシ・架装）** ⇒ **架装特有の材料情報が欲しい**
- ・検討車種としてバン・平ボディ・バスを絞り込み
- ・自工会と共通の素材以外で、架装物独自の材料を知りたい  
（自工会で管理できていない材料を知りたい）

## ② 進め方

- ・各車種（バン、平ボディ、バス）の車型等の種類が多いため、自工会側で絞り込み  
⇒ **3/30（水）受領&関係者へ展開済**（次ページ）
- ・自工会からの依頼内容の詳細、今後のスケジュールを確認（日程調整中）

# 4. 代表車型の選定

## ①バン、平ボディ（各3車型）



仕様	小型		中型		大型			
	4×2		4×2		6×4	8×4		
架装	バン	平ボ	バン	平ボ	平ボ	バン		
車型名称	NLR88AN-EE6LAY	NJR88AN-EE6LAY	FRR90T2-NDYH	FRR90S1-MAYN	CYZ77C-VX	CYJ77C-WX		
GVWクラス	5t	5t	8t	8t	25t	25t		
キャブ形状	ハイキャブ	標準キャブ	ベッド付・広幅	ベッドレス・標準幅	フルキャブ(ハイルーフ)	フルキャブ(ハイルーフ)		
届出情報	届出 最大 寸法	軸距 (mm)	2,500	2,500	4,860	4,660	7,125	7,335
		長さ (mm)	4,880	4,800※2	8,805	8,490	11,775	11,935
		幅 (mm)	1,960	1,890※2	2,500	2,320	2,500	2,500
		積載量 (kg)	2,000	2,000	4,050	4,300	15,300	13,700
		許容限度 (kg)	前前軸重	2,100	2,100	3,450	3,450	7,500
前後軸重	—		—	—	—	—	5,100	
後前軸重	—		—	—	—	—	—	
後後軸重	3,900		3,900	6,500	5,800	19,000	18,000	
総重量	4,990		4,990	8,000	8,000	25,000	25,000	
架装情報	キャブ付きシャシ重量 (kg)	前前軸重	1,480	1,420※2	2,205	2,070	4,450	3,020
		前後軸重	—	—	—	—	—	2,610
		後前軸重	—	—	—	—	1,900	1,345
		後後軸重	580	580	1,110	965	1,730	1,235
		総重量	2,060	2,000※2	3,315	3,035	8,080	8,210
タイヤ	前輪	195/75R15	195/75R15	225/80R17.5	225/80R17.5	275/80R22.5	245/70R19.5	
	後輪	195/75R15	195/75R15	225/80R17.5	225/80R17.5	275/80R22.5	245/70R19.5	

## ②バス（5車型）

### ・路線バス（大型路線）



### ・路線バス（中型路線）



### ・観光バス（大型）



### ・観光バス（中型）



### ・シティ・コミューター（小型）



# 5. 材料調査シート

IMDS材料分類に従い、各重量を調査

材料分類  
(1.1~9.8 計47種類)

材料分類名称 (和文)	
0	未定義
1	鉄鋼及び鉄系材料
1.1	鉄鋼/鋳鋼/焼結合金
1.1.1	非合金、低合金鋼
1.1.2	高合金鋼
1.2	鋳鉄
1.2.1	片状黒鉛鋳鉄/可鍛鋳鉄
1.2.2	球状黒鉛鋳鉄/パーミキュラー鋳鉄
1.2.3	高合金鋳鉄
2	軽合金、鋳造・鍛造合金
2.1	アルミニウム、アルミニウム合金
2.1.1	鋳造アルミニウム合金
2.1.2	鍛造アルミニウム合金
2.2	マグネシウム、マグネシウム合金
2.2.1	鋳造マグネシウム合金
2.2.2	鍛造マグネシウム合金
2.3	チタン、チタン合金
3	重金属、鋳造・鍛造合金
3.1	銅(例、ケーブルハーネスの銅)
3.2	銅合金
3.3	亜鉛合金
3.4	ニッケル合金
3.5	鉛
4	特殊金属
4.1	白金/ロジウム
4.2	その他の特殊金属

入力フォーマット 使用している材料ごとに重量を記入

部品名称	単位数	材料の 総和 (g)	1.1 鉄鋼/ 鋳鋼/ 焼結合金	1.1.1 非合金/ 低合金鋼	1.1.2 高合金鋼	1.2 鋳鉄	1.2.1 片状黒鉛 鋳鉄/ 可鍛鋳鉄	1.2.2 球状黒鉛 鋳鉄/ パーミ キュラー 鋳鉄	1.2.3 高合金鋳 鉄	2.1 アルミニ ウム, アルミニ ウム合金
SEAT ASM:PASS	1	12839.700	3.4	9909.412	0	0	0	0	0	0
<p>材料 (47種類)</p> <p>・材料構成はこの分類(1.1~9.8)ごとに記載(単位は“g”)                      ・分類が難しいものに関しては近い分類に記載し、備考欄に材料情報を記入                      ・行は適宜追加して記載                      ・部品(構成部分)ごとに材料構成を把握できる場合分けて記載</p>										
TOTAL		12839.60078492	3.4	9909.411898	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※調査車型や入力方法等の詳細について、自工会との連携を進める